

No.358  
2018  
6/21



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索



## 八地申 第27号 「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化」に関する申し入れ【その1】

メンテナンス体制の再構築（設備21）及びメンテナンス体制改善の議論を継承し  
安全第一・安定性向上に寄与した施策とすることを確認！！

### 確認事項

#### 【前段】

- 設備メンテナンス体制の再構築及び改善で積み上げてきた JR は線路設備管理のプロ、パートナー会社は施工のプロという考えは今施策でも変わらない。
- 八王子保線技術センター拝島派出のあり方は変わるものではなく、今施策では体制を維持していく。しかし、若手だけの人材育成の場ではなく技術者を育てる場としていく。
- 現場に行ける体制の確立、工事立会いの拡充については、今施策についても変わるものではなく。全ての現場に行くのではないが、メリハリをつけて現場に行くこととなる。
- 今施策において、安全第一、安定性向上に寄与するものとしていくことは変わらない。

#### 【1項】各線区における線路設備モニタリング装置の導入時期を明確にすること。また、線路設備モニタリング装置の本運用については、試行・検証・改善を行ったうえで実施すること

- 中央急行、青梅（立川～青梅）、中央緩行、武蔵野、横浜線は、7月から導入し1ヶ月確認期間とし8月から本使用。八高、川越、南武、中央本線（高尾以西）は、8月から導入し1ヶ月確認期間とし9月から本使用とし、2段階（8月、9月）で周知していく。なお、システム改修によって早める必要性はない。
- モニタリング装置の本運用に際して、試行・検証・改善については、モニタリング推進リーダー会議を継続して行っていく。

#### 【2項】モニタリングセンターの基準データの精度を向上させるために、専任の設備更新担当者を配置すること。

- 基準データ更新はモニタリングセンターにて実施する。なお、大規模改修工事により、大幅な設備更新がある場合は、支社として契約を行い対応していく。
- 八王子支社として、TRAMS の設備更新については、各技術センターのフォローを行い問題ないレベルであることを確認しており、専任の設備更新担当者を配置する考えはない。

#### 【3項】線路設備モニタリング装置を活用して取り組む予防保全に向けた対応について、八王子支社として統一した指針を示すこと。

- 支社として、モニタリング推進リーダー会議を通して、情報の共有化、水平展開を行い統一化を図る。